一橋大学社会学部連続市民講座 2016

「周縁から考える」

一多元的世界への招待一

[2016年度 講座一覧]

4/16 (土) 講師 久保 明教 准教授

逆説の日本人論:現代人類学からみる『菊と刀』

5/21 (土) 講師 赤嶺 淳 教授

グレーゾーンを生きる

-マレーシアのアブラヤシ園から考える-

6/18 (土) 講師 森村 敏己 教授

ヴァンデから見たフランス革命とその記憶

7/16 (土) 講師 秋山 晋吾 教授

歴史の周縁を浮かび上がらせる

-18世紀と 21世紀の「同じ現場」-

9/17 (土) 講師 尾崎 正峰 教授

寛容のさじ加減

ーオーストラリアのスポーツに見る多文化主義の葛藤一

10/15 (土) 講師 木村 元 教授

学校の戦後史ー周縁の学校から考えるー

11/19 (土) 講師 久保 哲司 教授

〈ユダヤ人〉とドイツ

12/17 (土) 講師 町村 敬志 教授

周縁はどこにあるのか

-変化する現代都市「東京」から考える-





一橋大学社会学部は2006年4月から、全8回の連続市民講座を 行っています。12月までほぼ1か月に1回のペースで行い、講座 は社会学部の教員スタッフが担当します。

今回は共通テーマに、「周縁から考える一多元的世界への招待一」 を掲げます。

日本国内であれグローバルな世界であれ、私たちが生きる社会はつねに、「中心と周縁」の構造を生み、そこには格差や権力などをめぐる深刻な諸問題が見出されてきました。

本講座では、社会学部の学際的で総合的な特徴を生かし、歴史、 教育、スポーツ、都市、地域社会などの幅広い観点から、各分野の 専門家である教員が、周縁をめぐる諸問題に切り込み、わかりやす い言葉でお伝えします。

参加方法

参加無料。どなたでも入場できますので、当日、 直接会場までお越しください。なお、6回以上出 席した参加者には修了証を発行します。

会場/時間

兼松講堂(一橋大学国立西キャンパス)

時間:13:30~15:00 (質疑応答約15分を含

む。)

問合せ先

一橋大学社会学部事務室

住所:東京都国立市中2-1

TEL: 042-580-8212

E-mail: info@soc. hit-u. ac. jp



優勝劣敗の競争に追われてきた近現代社会のなかで、成功や失敗の原因を問う研究や、その背景として国や社会を比較する研究が盛んに行われてきました。これに対して新しい学問潮流としての「周縁からの視点」は、世界から地域に到るさまざまのレベルで歴史的に形成され、また新たに形成されつつあ

る「中心」と「周辺・周縁」との「関係性」に注目することで、国家・社会や人々のあり方について単なる比較からは得られない新しい知見をもたらし、現代社会の正義や平等に対する考え方にも大きな影響を及ぼしてきました。一橋大学社会学部には、「周縁からの視点」をあらゆる角度から研究する素晴らしい研究者たちが集っています。選りすぐりの講師陣が、皆さまにどんな思いがけない「周縁からの視点」を示すことができるか、大いに期待していただきたいと思います。あわせて、



国立の美しいキャンパスと知の営みを護る「怪物が棲む講堂」兼松講堂の雰囲気も 一橋大学社会学部長 ぜひお楽しみください。皆さまをお待ちしております。 中野 聡

講座 担当教員



久保 明教 (くぼ あきのり) 准教授

専門は、科学技術の人類学。インドの IT 産業と日本のロボットテクノロジーを対象とし、コンピュータ技術の浸透が 人々の生活に与える影響について研究。主著等に、『ロボットの人類学ー二0世紀日本の機械と人間』世界思想 社など。担当科目は「社会人類学」「周辺社会の諸問題」など。

森村 敏己 (もりむら としみ) 教授

専門は、18 世紀フランス思想史。18 世紀フランスの奢侈論争および「商業と貴族」についての研究。主著等に、『視覚表象と集合的記憶』(編著)旬報社など。担当科目は「社会思想史」、「社会研究入門ゼミ」など。

尾崎 正峰 (おざき まさたか) 教授

専門は、スポーツ社会学、生涯学習・社会教育論。スポーツ政策の形成過程、生涯スポーツに関わる自治体の条件整備や地域の自主的なスポーツクラブの現状などを研究。主著等は『越境するスポーツ』(編著)創文企画、「オリンピックを、いま、東京で、開催する意味」『世界』2016年2月号など。担当科目は「スポーツ社会学の基礎」「身体社会史」など。

久保 哲司 (くぼ てつじ) 教授

専門は、近現代ドイツ文学・芸術・思想。とくにニーチェ、ジンメル、ホーフマンスタール、エルンスト・ブロッホ、クラカウアー、ベンヤミン、アドルノなどを研究している。主な著訳書に『ドイツの言語文化』(放送大学教育振興会)、『ベンヤミン・コレクション』(全7巻、共訳、筑摩書房)がある。担当科目は「文芸思想研究」「社会文化論」「原典講読」など。

赤嶺 淳(あかみね じゅん)教授

専門は、東南アジア研究、海域世界論、食生活誌学。「食」 のグローバリゼーションとグローバリゼーションと「食」といった、わたしたちの生活の基本である食にまつわる問題群を 重層的・多面的に研究。主著等に、『ナマコを歩く一現場から 考える生物多様性と文化多様性ー』など。担当科目は「地球環境と地域社会」「地球社会の課題」など。

秋山 晋吾 (あきやま しんご)教授

専門は、近世・近代ハンガリー史・トランシルヴァニア史。ハンガリー、トランシルヴァニアを中心に東欧・中欧の社会史を研究。主著等は『つながりと権力の世界史』(編著)彩流社など。 担当科目は「ヨーロッパ社会史」、「ヨーロッパ社会特論」など。

木村 元 (きむら はじめ) 教授

専門分野は教育学・教育史。教育を歴史的な構築物であると捉えて、その展開を人間形成全体のなかで考えてきた。近著に『学校の戦後史』(岩波新書)、『日本の学校受容』(編著、勁草書房)、『教育学』(編著、医学書院)などがある。担当科目は「教育と社会」「教育の歴史」「教育研究法」など。

町村 敬志 (まちむら たかし) 准教授

専門は、社会学、都市研究、エスニシティ研究。グローバリゼーションのローカルな基礎に関する理論的・実証的研究(国際化・都市間競争イデオロギー下の都市社会統合・紛争過程、国際博・オリンピックなど国際的イベントの都市政治、移動者の「居場所」形成)など。主著等に「都市空間に潜む排除と反抗の力差別と排除の「いま」2』(編著)明石書店など。担当科目は「社会学」「社会科学概論 I 」など。